

平成26年4月14日

## 平成26年度科学技術分野の文部科学大臣表彰

## 白木教授、長谷川教授、井面教授、平尾教授、野々村准教授が受賞しました！

文部科学省から、平成26年度科学技術分野の文部科学大臣表彰受賞者の決定についての公表があり、本学の白木渡教授（工学部・危機管理研究センター長）、長谷川修一教授（工学部・危機管理研究センター研究員）、井面仁志教授（工学部・危機管理研究センター研究員）、野々村敦子准教授（工学部・危機管理研究センター研究員）、平尾智広教授（医学部・危機管理研究センター研究員）が科学技術賞を受賞することになりました。

文部科学大臣表彰は、科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者について、その功績を讃える賞です。今回の表彰は、理解増進部門における「地域防災力向上のための教育研究の推進と成果の普及啓発」に関する活動が評価され、受賞する運びとなりました。

なお、表彰式は、平成26年4月15日（火）に文部科学省において執り行われます。

業績の概要は、以下の通りです。

香川大学では、香川県下の行政や企業等からの強い要望により、平成20年4月に全学組織として「危機管理研究センター」を創設した。センター創設以来、地域組織の事業継続計画（BCP）並びに地域全体の継続計画（DCP）の策定支援を重点プロジェクトと位置づけ、地域行政への防災対策支援、地域防災リーダーの養成等に尽力し、地域防災教育研究拠点としての役割を果たしてきました。

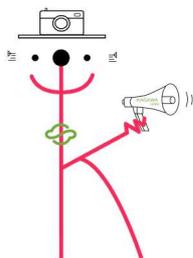
本活動では、地域防災・減災力向上のための技術開発、地域の自主防災組織強化のための防災士の養成、高度防災・危機管理専門家養成のための特別プログラムの開設準備、地域企業のBCP策定支援、県民の防災意識の向上、災害対応能力の向上に関する事業を行いました。さらに、地域の産官学連携により「香川地域継続検討協議会」を設置して、香川県のDCP策定を開始しました。また、その運営のために危機管理研究センター内に「DCM支援室」を設置しました。

本活動により、地方国立大学が担うべき防災・危機管理教育研究機能の充実が図られ、高度専門家養成のためのカリキュラム開発並びに継続的な人材輩出システムが構築されました。さらに、地域組織のBCPの策定及び地域継続のためのDCP策定の推進により、四国の災害対応拠点として期待されている香川県の地域防災力強化に寄与しています。



今回受賞する5名

（前列左から白木渡教授、平尾智広教授、後列左から長谷川修一教授、野々村敦子准教授、井面仁志教授）



## ➤ お問い合わせ先

白木 渡（香川大学危機管理研究センター長・工学部教授）  
〒760-0396 香川県高松市林町 2217-20  
TEL/FAX：087-864-2243（直通）  
E-mail：shiraki@eng.kagawa-u.ac.jp  
香川大学危機管理研究センター（担当：中屋敷）  
TEL：087-864-2523/FAX：087-864-2549（直通）  
E-mail：soumket@jim.ao.kagawa-u.ac.jp